

本学においては、経営改革検討ワーキンググループを設置し、文部科学省から示された「国立大学法人等人事給与マネジメント改革に関するガイドライン（平成31年2月25日）」に基づいた人事給与マネジメント改革への対応を図った。本学が中長期的に目指すべき理想の年代・職位構成については、令和元年6月20日第115回経営協議会、令和元年7月18日第214回教育研究評議会において、「職階・年齢構成の是正」が示され、令和3年11月18日第239回教育研究評議会、令和3年11月25日第130回経営協議会、第258回役員会を経て「第4期中期目標期間における国立大学法人鹿児島大学人事方針」が決定された。

第4期中期目標期間における国立大学法人鹿児島大学人事方針

■教員人事方針

(5) 職階ポイントの固定化による中長期的視野に立った人事計画に基づき、**年齢構成や職階構成のバランスに配慮した人事**を遂行する。



■職階・年齢構成の是正

○助教、講師・准教授、教授は、各々30代、40代、50代をピークとした単峰制の分布が理想

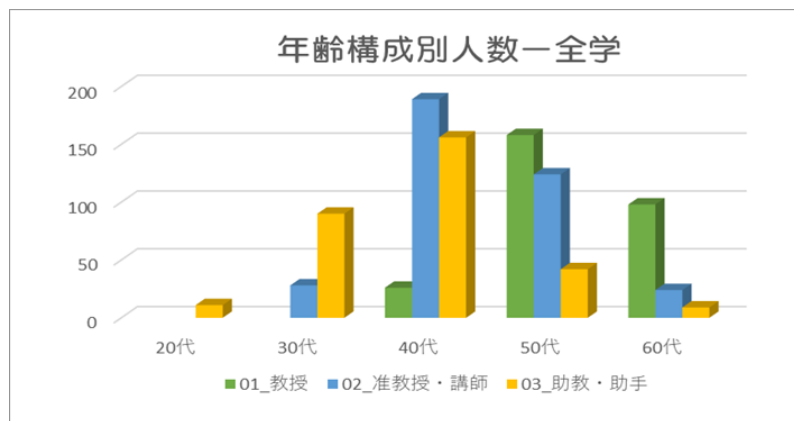
→高齢化が進んでいる部局へは、若年者の優先採用を推奨

○助教、講師・准教授、教授の人数は、ほぼ同等であるべき

(人数比率は、助教：講師・准教授：教授＝1：1：1)

→これが大幅に崩れている部局は設置基準抵触など確たる理由がない限り下位転換により是正促進

【実績値】職階毎の年齢分布（令和4年4月1日現在）



【実績値】職階毎の人数と比率の推移
 （教授：准教授・講師：助教・助手）

年月日	人数	比率
平成31年4月1日	314:397:301	1:1.21:0.96
令和2年4月1日	306:386:308	1:1.26:1.01
令和3年4月1日	300:366:302	1:1.22:1.01
令和4年4月1日	280:365:302	1:1.30:1.08